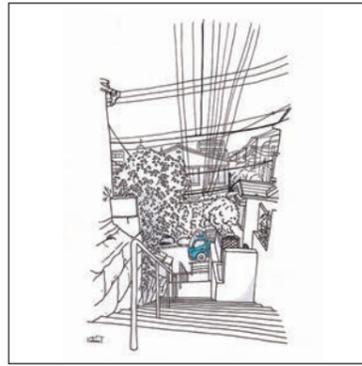


土田菜摘 個展

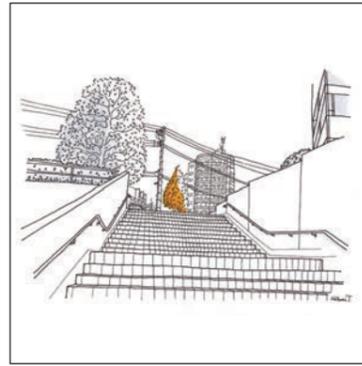
寄り道・帰り道

2016年11月25日(金)~30日(水) OPA gallery

すこし寂しくて、でも懐かしくてホッとする。
私の好きな、電線のある風景を描きます。
どこにでもありそうな場所。いつかどこかで見た場所。
ひととき、思いを巡らすきっかけになれば嬉しいです。



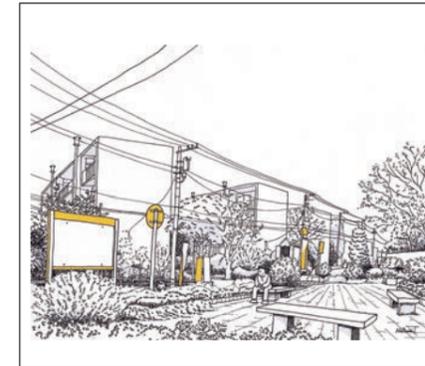
階段 I



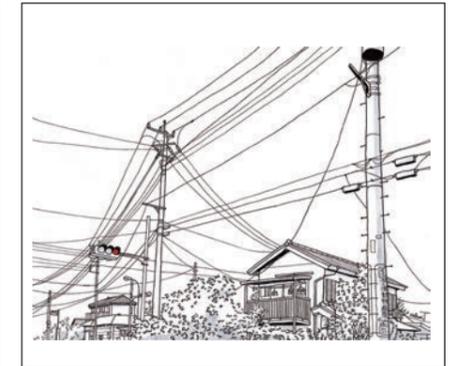
階段 II



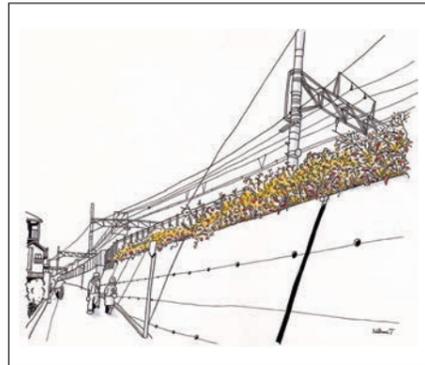
路面電車



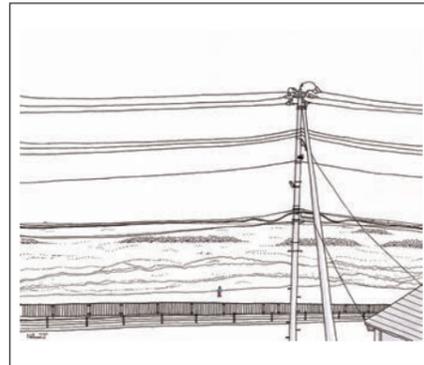
団地



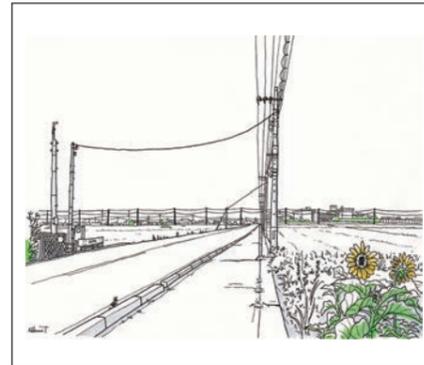
信号



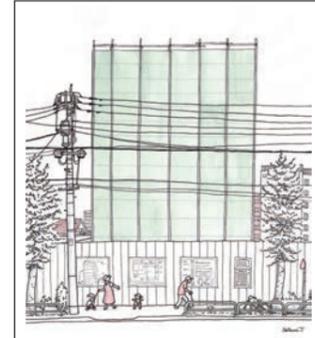
線路沿い



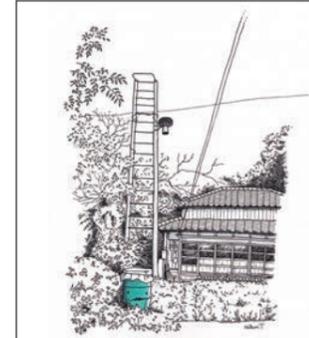
車窓より



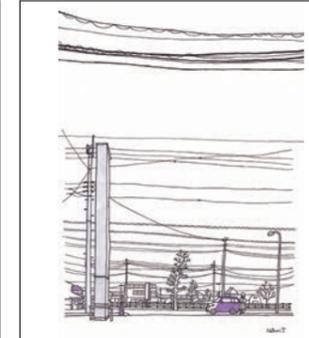
田畑



解体工事中



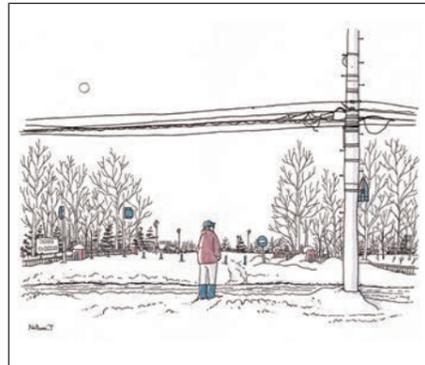
夏草



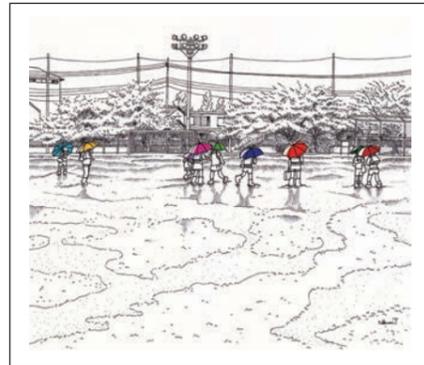
下校時間



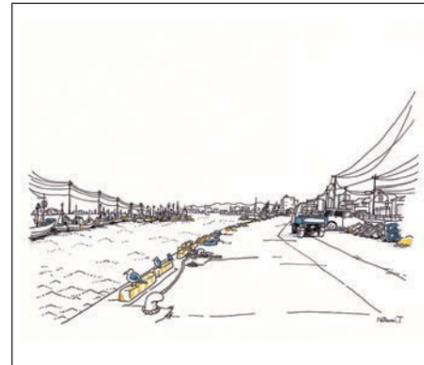
飲み屋街



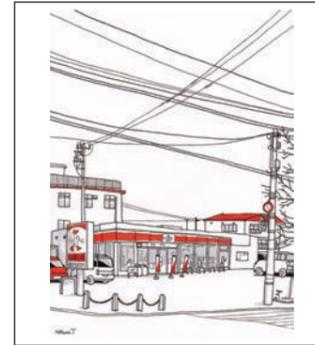
公園



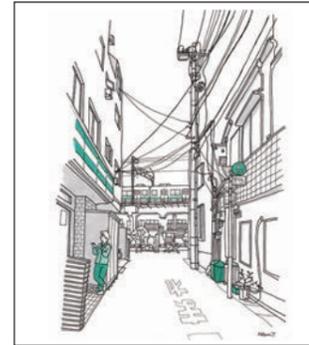
校庭



港



コンビニ(表)

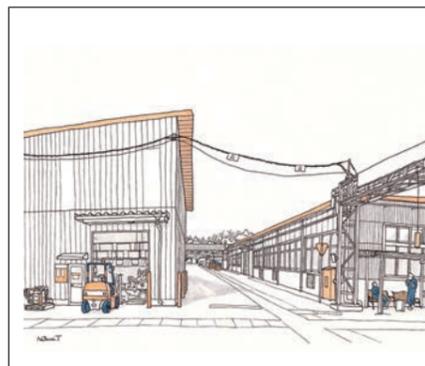
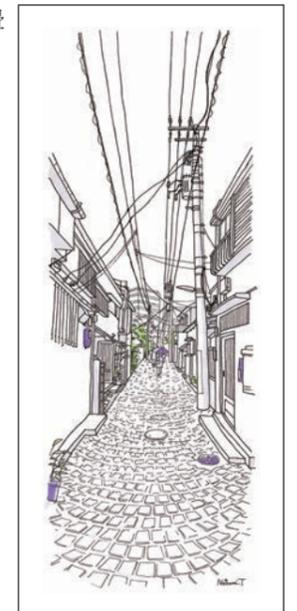


コンビニ(裏)

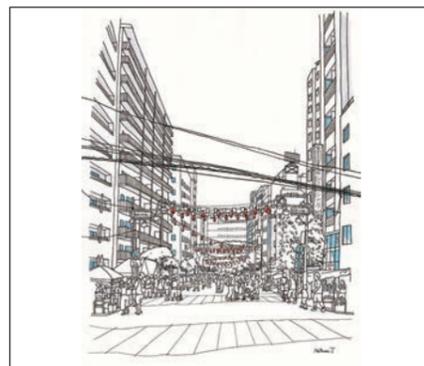


山並み

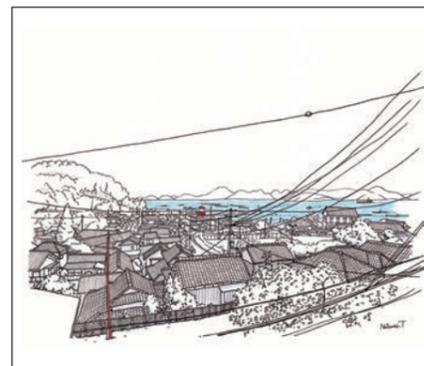
石畳



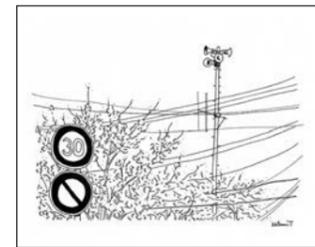
工場



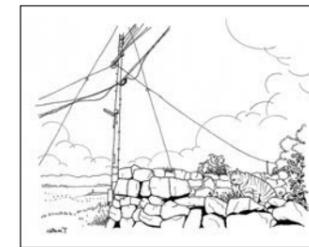
祭り



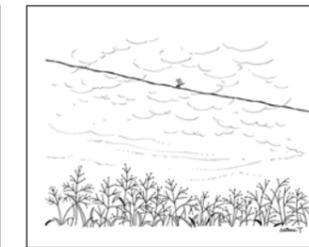
瓦屋根



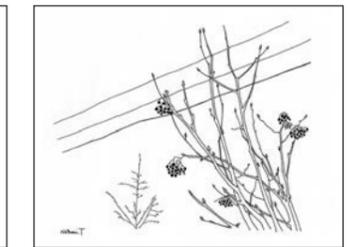
春



夏



秋



冬

土田菜摘 個展

寄り道・帰り道

2016年11月25日(金)~30日(水) OPA gallery

電線のある風景に惹かれる。

ちょっとさみしい雰囲気なのだけど

一方で、懐かしくて、ホッとする。

賑やかな場所を去る時の寂しさ。

しんどい1日を終えて帰るときのうれしさ。

とちゅうで道草をする楽しみ。

そんな気持ちと、似ている気がする。

そして、

なんてことないふだんの生活が、たまらなく愛おしくなる、

そんな瞬間を呼び起こしてくれているのかもしれない。

…なんて、我ながら脳天気だなあと思う。

使用画材

主線:ペン(タチカワラインマーカー)、

影、色:水性染料インキ(呉竹 ZIG リアルブラッシュ)、水彩絵の具

土田菜摘 (つちだ なつみ)

やわらかくあたたかみある雰囲気のイラストレーションが持ち味

ホッと和める風景画やイラストマップ、明るく躍動感あるキャラクターやマンガなども手がけ、

出版や広告、Webなど 様々な媒体にて幅広く活躍中

行く先々で出会った、なにげない風景をスケッチするのが日課

(協)日本イラストレーション協会(JILLA) 会員

ホームページ <http://www.natsumiroad.com/>

略歴:

1974 兵庫県西宮市に生まれる

1993 慶應義塾大学文学部入学。卒業後、IT系会社に入社、約7年システムエンジニアとして働く

2004年からWebデザイナーに転身(現在は休業)

2003 約3年間 勤務しながら渋谷アートスクールにて イラストを学ぶ

2005 イラストレーターとしての活動を開始

イベント・展覧会(抜粋):

2012 個展「品川スケッチブック」@フォトカノンギャラリー戸越銀座

企画展「しながわアーティスト展」@メイプルカルチャーセンター (~現在まで毎年)

2014 品川区民芸術祭 しながわアーティスト展@スクエア荏原(~2015)

2015 二人展「親子展」@銀座ミレージャギャラリー

MOVE展 3都市巡回展

New York (Caelum Gallery)

Tokyo (Salon de La' サロン・ドウ・ラー)

上海(上海風月舎画廊)

2016 MOVE展 in Berlin2016 @Kunstgalerie Prinz

コンペ受賞歴(抜粋):

2009 「Rooots 越後妻有の名産品リデザインプロジェクト2009」にて、Tシャツデザインが採用される

2010 坂本龍馬Tシャツコンテストで入選、商品化される

船橋Tシャツコンテストで投票1位となり、グランプリを受賞、商品化される

2012 「Rooots 越後妻有の名産品リデザインプロジェクト」手ぬぐいデザインが 商品採用される

(越後妻有アートトリエンナーレ 大地の芸術祭2012~現在も販売)

2013 「第1回 しながわみやげコンペティション」風景イラストのポストカードが

東京都品川区公認の「しながわみやげ」として認定される